

新図書館等複合施設「オーテピア」のランニングコスト県市負担割合（案）

◆負担割合の基本的な考え方

		基本的な考え方
オーテピア 高知図書館	維持 管理費	・県と市が、県立図書館／市民図書館本館の維持管理に要する経費をそれぞれ負担するという考えに基づき、県市の持分割合（＝イニシャルコストの負担割合）の10：7とする。 ・両館の独自部分に係る経費は、それぞれが負担する。
	運営費	・施設の運営に必要な経費は、折半とする。
	図書館 事業費	・県立図書館と高知市民図書館が共同で実施する業務やサービスの提供に要する経費は、折半とする。 ・両館の独自事業に係る経費は、それぞれが負担する。
高知みらい科学館		・高知みらい科学館の設置運営は高知市が行うが、県内全域をサービスの対象として理科教育・科学文化振興事業を実施するため、運営に要する経費は、県としても応分の負担を行うこととし、折半とする。
※参考 声と点字の図書館		・声と点字の図書館の設置運営は高知市が行うが、これまで以上に県内全域にサービスを提供するため、運営に要する経費は、県としても応分の負担を行うこととし、折半とする。

◆負担割合

主な項目		県市負担割合	備考
オーテピア 高知図書館	人件費	県／市	
	維持 管理費	10：7	
	運営費	1：1	
	事業費	県市共同業務に要する経費(※1) 図書館情報システム保守費	1：1
県市独自業務に要する経費(※2) 図書資料購入費		県／市	(※2)県：市町村等支援業務等、電子書籍等 市：分館分室の運營業務等
高知みらい科学館		1：1	
※参考 声と点字の図書館		1：1	

《参考》イニシャルコスト（※県市協定締結済）

主な項目		県市負担割合	負担割合の考え方
オーテピア 高知図書館	建築工事（機械式駐車場含む）、設計、設備整備費（備品等整備）	10：7	H23.3月末時点の県立図書館／市民図書館本館の蔵書比とする。
	図書館情報システム整備	1：1	県市の図書情報（県の市町村支援、市の分館分室含む）を網羅したシステムの構築であるため。
高知みらい科学館	建築工事、設計、設備整備費、プラネタリウム整備	高知市の 実質負担額の	高知市子ども科学図書館の機能を拡大したうえで、県内全域の理科教育等に寄与する施設であるため、県も応分の負担を行う。
声と点字の図書館	建築工事、設計、設備整備費	1：1	声と点字の図書館の設置は高知市が行うが、これまで以上に県内全域にサービスを提供するため、県は必要な負担を行う。